

森林インストラクター資格取得支援講座

模擬試験

2018年8月26日(日) 晴れ 八王子市 長池公園

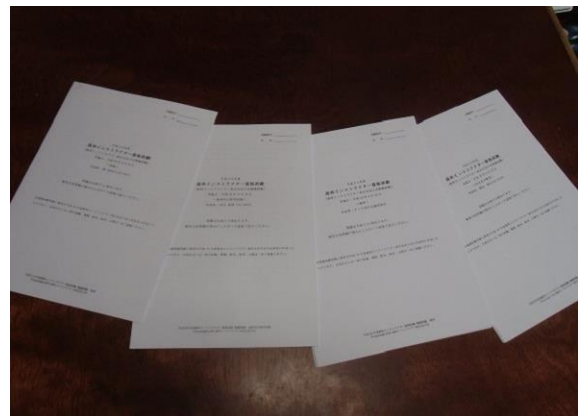
森林インストラクター資格取得支援講座8日目、講座の最後「模擬試験」を八王子市の長池公園で実施しました。9月30日の本番試験の1か月ほど前の8月末に友の会会員の到達レベル自己確認と、初めて受験する会員に1日4科目の受験を体験して貰うことが目的です。

文字数指定の記述式問題や、自由記述式問題、選択穴埋め問題、穴埋め問題、正誤問題等、本番の出題解答用紙の書式に合わせてF I Tの講師が作成した試験問題に取り組みました。300字の枠内記述の要領や記述式解答に要する時間、80分で11問、60分で9問とかなり厳しい時間をどう配分して解答するか、6名の会員が体験しました。

9時半から最初の科目「林業」で、山村と都市住民の交流の重要性と効果を問う問題を初めに、生産額の順番から該当する特用林産物を選ぶ問題まで、6分野の広範囲に亘る問題に解答しました。

2科目目は「森林内の野外活動」で、野外活動、キャンプ、ネイチャークラフト、野外ゲームの4分野からの問題に解答しました。今年は、東京オリンピックと関連してスポーツ基本法やスポーツ基本計画に関する問題が出題される可能性大です。

13時から「森林」です。森林生態系、樹木、鳥、きのこから法令まで10分野に亘る項目についての問題に解答しました。森林の遷移に関わる問題は、林業との関連が深い項目です。幼齢段階、ギャップ、パッチなどのキーワードの理解が重要です。



F I T講師が作成した模擬試験問題

4科目目は「安全及び教育」で、山の安全、救命手当、森の民俗学、話し方、企画の立て方の5分野の問題に解答しました。山の安全は、最近起こった事故や災害から出題されることがあります。今年7月に発生した熱中症による小学生の死亡事故に関連して、真夏のイベント開催時の安全注意点は大事です。

本番の試験まで1か月もあります。会員がこれまで勉強してきた成果と、まだ理解が不足している科目と分野が明らかになったと思います。初めて受験する会員は、一日で4科目解答する長時間の試験にどう対応するか、また枠内記述の回答方法や時間配分など、今回の模擬試験で体験したことを生かして、楽しみながら継続して学習に取り組み、合格されることを祈ります。

3月末のオリエンテーションから5カ月、延べ8回実施した「資格取得支援講座」はこれで終了です。会場として使った長池公園は、春から夏・秋へと季節が廻り、実習で観察した樹木や草花が実をつけています。友の会会員の皆さんの学習の成果が結実し、9月の試験に合格することを期待します。併せて友の会の資格取得支援講座に御協力頂いたF I Tの皆様へ感謝申し上げます。

参加者：秋里さん、氏家さん、芝原さん、福山さん、古谷さん、矢野さん、

スタッフ：藤岡 眞さん（採点）、田川裕則さん（野外活動講師）

出題者：関美知夫さん（林業）、田川裕則さん（野外活動）、運営部会（森林）、槇田幹夫（安全及び教育）



最初の科目は「林業」



三科目目の「森林」に取り組む



振り返りした8月のガマズミの花



赤く色づいたガマズミの実



3月のオリエンテーションで観察したコブシの花



沢山付いていたコブシの実



がく片5枚の蕾、花、それとも実？



試験の様子をじっと見ていたアカスジキンカメムシ